

海洋エネルギー関連技術に関するFS調査 事業報告

増山和晃*, 瀬戸彰文*, 富村哲也*

Annual Report of Feasibility Study on Ocean Energy Related Technologies

Kazuaki MASUYAMA, Akifumi SETO and Tetsuya TOMIMURA

1. はじめに

三重県工業研究所では、平成29年5月に技術分野横断的な研究会活動を主体として、「みえ産学官技術連携研究会」を発足し、4つの分野の研究会、さらに研究会の下にはテーマ別の特定課題検討会を設置・開催した。特定課題検討会では、企業ニーズの把握、国や他地方公共団体の取組状況に関する情報収集を行い、得られた技術情報をセミナーにおいて共有することを目的とした。

工業研究所プロジェクト研究課では、令和5年度に特定課題検討会の一つとして、「海洋エネルギー関連技術に関するFS調査」を実施した。FS調査では、海洋エネルギー関連技術のうち洋上風力発電技術を主なテーマとして、国や他県の取組状況に関するヒアリング調査を実施した。

調査結果は、三重県職員および県内市町職員を対象とした「再生可能エネルギー導入セミナー～地方自治体に求められる役割～」を令和6年3月1日に開催し、参加者に情報提供した。そのセミナーの内容を報告する。

2. セミナーの開催

表1に、開催したセミナーの概要を示す。基調講演として、名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻の丸山康司教授と招聘し、「再生可能エネルギーの社会受容性」と題して、再生可能エネルギー導入時に考慮すべき問題、人と自然の持続的な関係を維持した再エネ導入方法、地方自治体に求められる役割、国内外の取組状況について講演いただいた。三重県工業研究所からは、令和4年度にINPIT事業にて実施した洋上風力発電技術に関する知財調査結果、県内ものづくり企業の洋上風力サプライチェーン参入可能性調査結果、経済産業省や他県等の取り組み動向を参加者へ情報提供した。

3. まとめ

本検討会は本年度で終了するが、引き続き他機関の情報収集を行いつつ、技術支援事業の中で関心のある県内企業支援につなげていきたい。

表1 令和5年度に開催した研究会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
令和5年度 再生可能エネルギー導入セミナー	令和6年 3月1日	オンライン (工業研究所)	【基調講演】 再生可能エネルギー導入の社会受容性 【調査結果報告】 工業研究所の取組紹介	10名

* プロジェクト研究課